



高原の自然館ニュースレター

# 苅尾電波塔

第78号

2010.7.1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。  
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」  
の名前をつけています。

## もくじ

### おしらせ

- ー『苅尾』の原稿を募集

### 活動報告

- ー龍頭山の野鳥観察会
- ー苅尾の昆虫観察会
- ー霧ヶ谷湿原の植生調査 夏

### 観察会案内

- ーブッポウソウの観察会
- ー霧ヶ谷湿原 夏のいきもの観察会
- ーこども観察会～植物標本をつくろう～

## おしらせ

### ●『苅尾』の原稿を募集しています

西中国山地自然史研究会の会報『苅尾』の原稿を募集しています。内容は西中国山地の自然や動植物に関する情報や自然に関わる活動報告、自然賛などです。また、下記のテーマに沿ったものも募集しています。600～1600字程度にまとめて、ぜひご投稿ください。写真を大歓迎します。あなたのみつけた小さな発見を、会員のみなさんにも伝えてください。

#### 【現在募集をしているテーマ】

- ・里山
- ・天然記念物
- ・外来種
- ・水辺の生態系
- ・ふるりの自然と教育
- ・八幡湿原

## 観 察 会 報 告

### ●龍頭山の野鳥観察会

開催日時:2010年6月12日(土)6:00

講師:上野吉雄

早起きのおかげで、きれいな朝焼けを見ることができました。6時に豊平のどんぐり村に集合し、参加者がそろったところで龍頭山へ移動しました。今回の講師は上野先生です。

車から降りるとすぐに鳥の声が聞こえてきました。アカマツヤスギの混交林では、ヒヨドリ・カケス・ホオジロの姿が見えます。にぎやかな鳴き声はヒヨドリで、果実をエサにしていること、ホオジロは「一筆啓上・・・」と鳴き、縄張りを主張して鳴いていること、カケスは小鳥の糞を食べること・・・などそれぞれの鳥の特長やエサとしているものなどのお話を聞きました。しばらくこの場所から観察し、他にもエナガの群れやコゲラ、カワラヒワ、キビタキ、メジロ、シジュウカラなどを確認しました。キビタキのおなかの色がとても黄色く鮮やかなのが印象的でした。

少しずつ上へと移動し、アオゲラのドラミングを聞いたり、キジバトのウォーキングを見たりしました。お目当てのアカショウビンはお天気良すぎたためか、姿も声も確認できませんでした。しかし、ヒヨドリやカワラヒワの鳴き声を何度も聞くことができたので、鳴き声の特長がわかったようになった気がします。また、鳥を見るには林内より林縁の方がよいことも教えていただきました。

登山口の小さな池では、今年もモリアオガエルの卵や幼生をねらうシマヘビの姿を見ることができました。そこから引き返して、前龍頭が見える大原堤という池に向かいました。去年は同じ場所でカワセミを観察しましたが、今年は確認できませんでした。しばらく池上のツバメや水辺のトンボを観察していると、道路向かいのスギ林の近くに黒いシルエットの鳥が見えました。ヒナのエサであるミミズを取りにきたクロツグミのオスでした。警戒しつつも土をつつき、ミミズを探しているようです。前回の苅尾の野鳥観察会ではクロツグミの美しい鳴き声を聞きましたが、今回の龍頭山では姿を見ることができました。

時間になったので、もとの場所まで帰り、最

後のまとめをしました。全部で21種類の野鳥を参加者で確認しました。毎年来る場所でも、ちょっとした気候の違いで、鳥の姿を見ることができたりできなかったりするんだなあと感じました。さわやかな空気の中、たくさんの鳥声を聞き、ひとときでも鳥博士になった気分の観察会となりました。(このやよい)



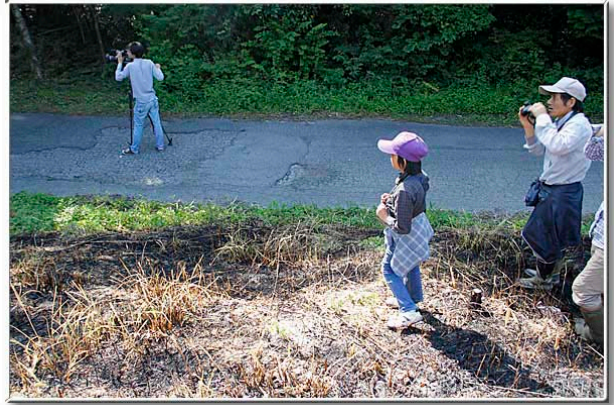
上野先生によると、林内より林縁の方が鳥の姿はよく見られるということで、この場所はベストポジション。



フィールドスコープをのぞくと、鳥の姿がすぐそこに！



え〜と、さっきの鳥は何だっけ！？と図鑑をめくる。



黒い鳥がいる〜！との声があがり、参加者の視線の先には・・・



電線にとまっている鳥を観察。なんだろう？胸の様子がネクタイのようなシジュウカラ。



エサを求めて地面をつつくクロツグミがいた。



ヒヨドリの羽が落ちていた。何者かに食べられた跡だ。

#### 【みなさんの印象に残った物】

「聞きなしの言葉の上手さ」「クロツグミを見つけられてうれしかったです(3)」「カケス」「ヤマガラ」

#### 【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「楽しい半日でした」「たのしくできました」「晴れていましたが、すごくすずしくて気持ちよかったです」「天気良すぎて鳥の鳴き声が今一歩という事でしたが21種類の鳴き声姿等見れてよかったです」「ツバメのヒナがかわいかったです」「思ったより鳥がいなくてぜんねんだった」

## 観 察 会 報 告

### ● 苅尾の昆虫観察会開催

日時:2010年6月19日(土)18:00

講師:清水健一

梅雨の季節で雨を心配しましたが「大丈夫です」とご連絡頂きましたので集合場所の高原の自然館に急ぎました。国道186号線から県道307号線に入ったあたりから霧が流れ始め、二川キャンプ場から霧ヶ谷湿原にかけて前が見えない程霧が濃くなり、雨の心配をしながら恐る恐る走り自然館に着きました。自然館に近づくとつれて車窓から良い匂いがして何の花の匂いか気になりましたので、日野さん(森林インストラクター)にお聞きしたところ、即座にハルガヤに含まれるクマリン(桜餅の桜の葉の香り)と教えてくださり、自然館横の草地が刈り取られ、余計に強く匂うのだと教えて頂きました。私には初めての経験で感動しました。観察会ではいろんな方とお目に掛かれて、色々なことを教えて頂けるのも楽しいことです。

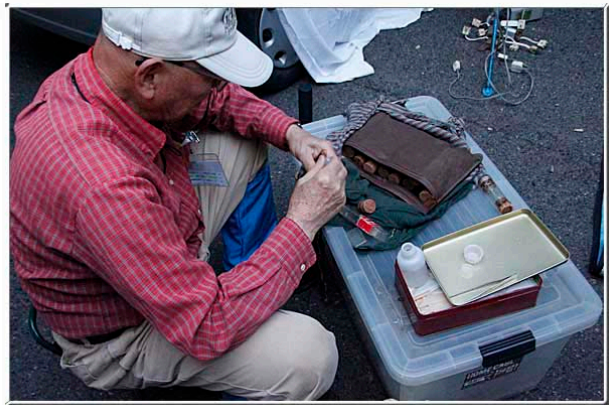
観察会は昨年同様苅尾山の雪霊水前の駐車場にライトトラップを設置しました。いつも蛾を観ている私には、種類数、個体数ともに少なく不満の残るものでした。参加した方からも昨年より虫が少ないと言う声がしていました。色々な花では開花が遅れていると実感していましたが、採集した蛾を今年の蛾と比べて観なければ、はつきりしませんが蛾も遅れていると感じました。特に昨年たくさん来たミヤマクワガタは一匹も見られず、今年もと張り切っていた子供達には残念な結果になってしまいました。昨年と1日しか変わらないのに自然は暦どうりにはいかないもので、特定の虫の発生を予測するのは難しいものです。比較的小さいガマガエルが灯にきた虫を食べに出てきたところを子供達に捕まり、遊び相手になっていました。皆さんが帰られた後、一回り大きなガマガエルがでてきました。私がどんなに動こうともまったく警戒することなく、懸命に虫を食べていました。動作が緩慢でその動作を見ていると楽しくなります。しかし彼・彼女?のにとって食べられるとき食べておかなければと虫を追っている姿を見ると自然のなかで生きるのは大変なことなのだと感じられました。オオミズアオを食べようとしたが余りの大きさにすぐあきらめてしまい、

おい、おい挑戦しろよと言ってしまいました。結構楽しく彼・彼女?とすごしました。

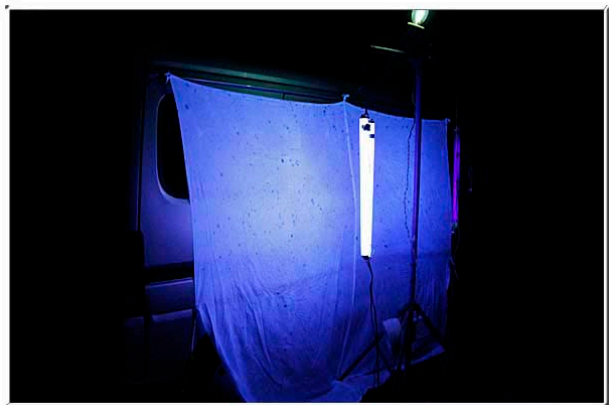
やはり例年どおり大型のオオミズアオ、ハネナガブドウズズメ等が子供達に人気がありましたが、大型の蛾は2種類のみで物足らなかったと思いましたが、「楽しかった」「おもしろかった」と言って頂いたので、ひとまず安心しました。(しみずけんいち)

注:臥竜山特別保護地区での無断採取は禁止されています。今回の採取は、北広島町自然学術調査に伴う許可を得て実施しました。

※写真提供:新保勇介さん



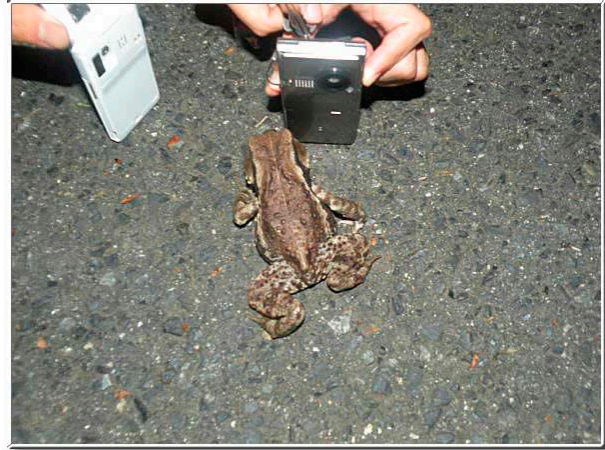
清水先生が採集用のピンを準備中。



ちょうど20時に点灯、採集開始!



光に集まる昆虫に集まる参加者。



帰り際、のそのそ歩いていたヒキガエル。



たくさんのハクモンヒトリ。



翅の形や模様が特長的なウスツバメエダシャク。とてもきれい。

### 【みなさんの印象に残った物】

「ガをつかまえたことです」「ハクモンヒトリ」「ガがいっぱい。いろんな種類のガがいるんですね」「ガがいっぱいいた」「オオミズアオを触ったこと」「マエキトガリアツバ」「大きなガ、カエル」「オオミズアオ(2)」「しろいガをつかまえたのがたのしかったです」「ススメガの大きな腫が印象的でした。」

### 【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「たのしかったです」「もう少しやりたかった」「はでなのがみれてよかった」「クワガタがこなかったことは残念」「クワガタがいなくてぜんねん」「夜の臥竜山のとっぺんにドキドキしました」「子供達が蛾をおそれなくて興味をもっていること」「初めて参加しました。今までにない経験をさせていただきました。」「クワガタを見られなかった」「クワガタは来ませんでした。が、以前より「ガ」の被害が少なく、にぎやかな会でした。」「クワガタが見られなかったのが少し残念です。」

## 観 察 会 報 告

### ●霧ヶ谷湿原の植生調査 夏

開催日時 : 2010年6月26日(土)9:30

講師 : 大竹邦暁・佐久間智子・白川勝信

昨年度に自然再生工事が完了した霧ヶ谷湿原で、工事直後の状態を調べるための植生調査を行いました。昨年にも、木道設置予定ルートに沿って調査をしましたが、木道設置工事のために重機が動いた影響が見られるため、今回の調査を「工事完了直後の調査」と位置付け、今後続けられるモニタリングの基礎データとすることにしました。

参加者9人が3つの班に別れて、調査を進めていきました。今回は、大竹邦暁さん、佐久間智子さん、白川の3人が班長です。1m×1mの調査枠を設置し、枠の中に生えている植物を全て記録するとともに、種ごとに被度(どのくらい覆っているか)・郡度(どのくらいまとまって生えているか)・高さを記録し、写真を撮影しました。

同じように重機の影響を受けているように見えても、プロットごとに生えている植物の種類や繁茂状況は少しずつ異なっていたようです。多くの調査区で見られたのがミゾソバとイデでした。また、アメリカセンダングサやフランスギクなど、外来種が多く生育する調査区もありました。一方で、外来種がほとんど見られない場所もあり、工事直後にも多様な植物群落が見られることが分かりました。

調査の後、調査をしながら感じたことを話し合いました。昨年は広く繁茂していた外来種が少なかったこと、水の流れが変わった場所があったことなどが感想として上がりました。雨の心配をしていましたが、ほとんど降られずに、12プロットの調査を1時間30分ほどで終わることができました。今後は、もう重機が入ることは無いはずです。今日の結果をもとに、静かに霧ヶ谷湿原の変化を見守って行きましょう。[しらかわかつのぶ]

※写真提供 : 大竹邦暁さん・佐久間智子さん



3班に別れて調査を進めた。



植物の高さを測る。



小さな植物も見逃さないよう、じっくりとさがす。



赤ちゃんがいても、木道沿いなら調査に参加できる。



プロット 4 (木道 No.96 番付近)



最後に、それぞれ感じたことを共有して解散した。



プロット 5 (木道 No.86 番付近)



プロット 3 (木道 No.107 番付近)

### 【みなさんの印象に残った物】

「木道がきれいに整備されていたこと」「2年余りの植生調査で色々と思い出す事が多かった」「木道のほとりの機械が入った所で種類が少なかった事」「湿地生の植物が確認されたが、外来種も多く確認された」

### 【参加したみなさんの感想 (抜粋)】

「時間の経過とともにどのように変化していくのか非常に楽しみです」「植生にもう変化の生じているプロットもあったこと」「皆様の努力が実って良い湿地なる事を望みます」「これから継続的にデータを取り、経年的な変化をみていくことが重要だと感じました」

## 観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

**基本セット**：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳  
**作業セット**：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

### ● ブッポウソウの観察会開催日時

2010年7月3日(土) 9:30  
集合場所：芸北文化ホール  
講師：上野吉雄・暮町昌保  
準備：基本セット、双眼鏡  
定員数：30名  
参加費：一般=300円 / 賛助会員=100円  
正会員・中学生以下=無料

研究会では初めてのブッポウソウの観察会です。巣箱をかけている場所で、ブッポウソウの繁殖行動を観察します。育雛期のエサ運びを見たり、生態についてのお話を聞くことができます。「ブッポウソウって、どんな鳥？」の疑問を一緒に体験しましょう。

### ● 霧ヶ谷湿原 夏のいきもの観察会

開催日時：2010年7月11日(日) 9:30  
集合場所：高原の自然館  
講師：岩見潤治・和田秀次  
準備：基本セット、長靴  
定員数：30名  
参加費：一般=300円 / 賛助会員=100円  
正会員・中学生以下=無料

人気の観察会のひとつです。霧ヶ谷湿原を歩きながら、植物・昆虫、それぞれが専門の先生からの丁寧な説明を聞くことができます。また、植物と昆虫のつながりや、花や虫の名前の由来など、この観察会ならではの楽しいお話もあります。

### ● こども観察会～植物標本をつくろう～

開催日時：2010年7月25日(日) 9:30  
集合場所：高原の自然館  
準備：【服装】長袖、長ズボン、長靴、帽子  
【持ち物】雨具、着替え、飲み物、タオル  
【採集道具】ポリ袋(45L)1～2枚、スコップ、剪定バサミ、ダンボール紙(新聞紙が挟める大きさ：42cm×30cm)2枚、新聞紙10日分、マジックペン  
定員数：30名  
参加費：小学生100円(保護者は無料)  
※小学生限定です

夏休みならではの小学生限定観察会です。今回は自然館の周辺で植物採集を行った後、山麓庵で植物標本づくりを行います。植物の名前はもちろん、標本をつくることによって植物の知識が深まる機会です。夏休みの自然体験のひとつにおすすめてです。ぜひ親子でお申し込みください。

みなさんはどのような梅雨時期をお過ごしですか？今月もたくさんいい出会いがありました。夕暮れ時に空に架かった虹、観察会の朝に見た朝焼け、爽快な青空、緑がまばゆい苅尾山、雨の中にたたずむカンボク・・・と身のまわりの自然こそ美しいなあと思う毎日です。変わったところでは、6月24日の夜に宇宙ステーション「きぼう」を見ることが出来ました。肉眼で見ることができ、貴重な体験ができました。さて、7月も虫や天の川、出会いに期待します！（このの）

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先  
(ご意見・ご感想もお待ちしております)

#### 高原の自然館(こうげんのしぜんかん)

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原119-1  
tel. & fax : 0826-36-2008  
<http://shizenkan.info/>  
staff@shizenkan.info